

【自治体編：事例(19)】

羽咋郡市広域圏事務組合

・羽咋市、宝達志水町、志賀町
(人口：約6万3千人)のごみ処理を実施。



★小型家電等の分別・回収メリットは？

- ① 不燃ごみを分別することにより、投入量の減少に伴う破碎機の負担軽減
- ② 小型家電の素材構成比で約60%を占めるプラスチック等の可燃残渣を抑えることができる。燃料化施設への減量化と処理コストの低減

★小型家電等回収のきっかけは？

・先進自治体の事例や、中間処理業者の企業情報・実績などを検証したうえで、平成22年9月から小型家電リサイクルを実施。

★資源化しようとしているごみの回収対象範囲は？

・コンセント若しくは電池で動く電化製品全般(家電リサイクル法の対象品目を除く)を含む、金属等再生資源。

★その回収量は？そのうち小型家電の割合はおおよそどのくらい？

・平成22年9月～平成23年3月の間(7ヶ月間)で、166.4トン資源化対象ごみとして回収。

★小型家電等はどのように選別しているの？

- ・羽咋市、宝達志水町、志賀町がパッカー車で回収した資源ごみ・不燃ごみの中から、リサイクルセンター委託職員が手選別で小型家電等を分別。中間処理業者がヒアブ車で回収・運搬。
- ・また、リサイクルセンター内に無料回収ボックスを設置。



★小型家電等の売却価格は？

・平成23年度は、入札により9円/kgで売却(平成22年度は10円/kg)。半年ごとに入札を行う予定

■提携事業者

○ハリタ金属株式会社

■問い合わせ先

羽咋郡市広域圏事務組合 環境保全課

電話：0767-27-1153